



学校だより

令和 8 年 3 月 24 日号

柳川市立垂見小学校

柳川市三橋町垂見1610番地

☎ 0944-72-2837 Fax 0944-72-4632

文責 校長 石橋 由美

たるみ

21名の6年生が巣立っていきました。

3月18日(水)に第134回卒業証書授与式が行われました。今年は、21名の6年生が学び舎を後にしました。前日の修了式の日、卒業式は1204日目の最後の授業が行われる大切な日であり、皆さんの学びのまとめであるということをお話していました。

当日は、曇り空の雨模様の天気でしたが、子どもたちは、晴れ晴れとした顔で、全員元気に登校してくれました。6年生は、いつも、下級生のお手本となるべく、自分たちの役割を一生懸命に果たそうと「自分で考え、自分から挑戦する」子どもたちでした。毎日の集団登校でも、下級生を一行に並ばせ、声をかけながら登校してきました。学校行事では、常に縁の下で支えて、自分たちの役割を果たしました。特に、運動会では、準備から片付けまで、自分から「何かすることはあるか」と考えたり、尋ねたりしながら働きました。競技では、暑期中、全力で取り組む姿で、たくさんの感動を与えました。6年生のいいところを考えだすときりがなく、運動会のことはほんの一部に過ぎません。このように、一人一人に卒業証書を渡しなが、子どもたちとの思い出を振り返り、感慨深いものがありました。6年生の子どもたちには、感謝の気持ちで一杯です。

6年生の別れの言葉は、心のこもった感謝の気持ちを保護者の方や地域の方、私たち職員に伝えてくれました。また、しっかりと在校生代表の5年生に、垂見小学校の伝統を伝え、最上級生としての責任を教え、校旗を引き継いでくれました。5年生も、6年生といういいお手本が身近にいたからこそ、これから自分たちが何をすべきかを考えられるようになり、卒業式の準備などを見ていると最上級生としての自覚も芽生えつつあると期待しています。

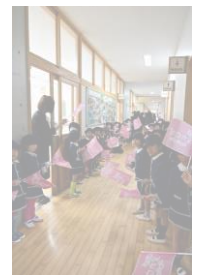
たくさんの方に見守られ、21名の卒業生がふるさと「垂見小学校」を巣立っていきました。幸多かれと祈るばかりです。



卒業式の見送りありがとうございました。(垂見全力応援プロジェクト)

卒業式の最後に、6年生を見送るために、雨の中、たくさんの地域の方がお越し下さり、見送りの旗を振って、卒業生を送り出してくださいました。

雨の中の見送りになりましたので、体育館から南校舎1階の廊下を歩いていく歓送になりました。長い廊下や広い体育館がピンクの旗で埋め尽くされた風景は、6年生にとって忘れられない思い出になったと思います。子どもたちのためにと、たくさんの地域の方が集まってくださり、ありがとうございました。



保護者の皆様・地域の皆様

1年間、垂見小学校の学校教育に対し、ご理解とご協力をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

